

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和7年3月31日 (第 1 回)
目標年度	令和 1 6 年度
市町村名 (市町村コード)	嘉麻市 40227
地域名 (地域内農業集落名)	泉河内・四ヶ畑 (泉河内西、泉河内東、四ヶ畑)

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（泉河内、四ヶ畑）	109.2 h a
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	91.5 h a
② 田の面積	103 h a
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	6.2 h a
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 h a
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 h a
（参考）区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	0 h a
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	0 h a
（備考）	

(2) 地域農業の現状及び課題

後継者不足、有害鳥獣被害

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

水稻を主要作物としつつ、畑作物の生産に取組み効率的な農地利用を行っていく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針
中間管理事業を利用し、担い手への農地の集積・集約化を基本とし、農業を担う者により効率的な農地利用を目指す。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積・集団化の取組
中間管理事業を利用し、担い手を中心に集積・集約化を進め、団地面積の拡大を農地利用最適化推進委員と農地相談員と協力し調整を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
今後も中間管理事業を円滑に努めるため新しい利用権設定を推進する。また、担い手の意見交換会を継続して行い、意向の集約をし担い手の希望実現のため農地利用最適化推進委員と農地相談員と協力し推進していく。
(3) 基盤整備事業への取組
各担い手の要望に応じ、期待できる農事区は団地化を検討し、進めていく。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
地域内外から、多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していくため、市及びＪＡと連携し、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
効率化が期待できる作業は委託を進める。

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①イノシシ等の被害が拡大しないよう防止柵を設置する。

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
認農	鎌田 幸典	水稻、果樹、露地野菜	1 ha	ha	水稻、果樹、露地野菜	1 ha	ha		
認農	三宅 敏秀	水稻	4 ha	ha	水稻	4 ha	ha		
認農	大塚 壽丸	水稻、麦等	2.3 ha	ha	水稻、麦等	2.3 ha	ha		
認農	大庭 伸也	施設野菜、露地野菜	0.3 ha	ha	施設野菜、露地野菜	0.3 ha	ha		
認農	嶋田 博	水稻、露地野菜等	1.1 ha	ha	水稻、露地野菜等	1.1 ha	ha		
認農	福澤農園 株式会社	水稻、麦	1.2 ha	ha	水稻、麦	1.2 ha	ha		
認農	吉貝 武利	水稻、露地野菜	6.1 ha	ha	水稻、露地野菜	6.1 ha	ha		
認農	伊藤 禎晃	露地野菜	1.7 ha	ha	露地野菜	1.7 ha	ha		
認農	株式会社 さかきんぐ	水稻、さかき	3.7 ha	ha	水稻、さかき	3.7 ha	ha		
認農	品原 勇二	水稻、露地野菜	6.4 ha	ha	水稻、露地野菜	6.4 ha	ha		
計	10経営体		27.8 ha	0 ha		27.8 ha	0 ha		

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図（別添のとおり）

